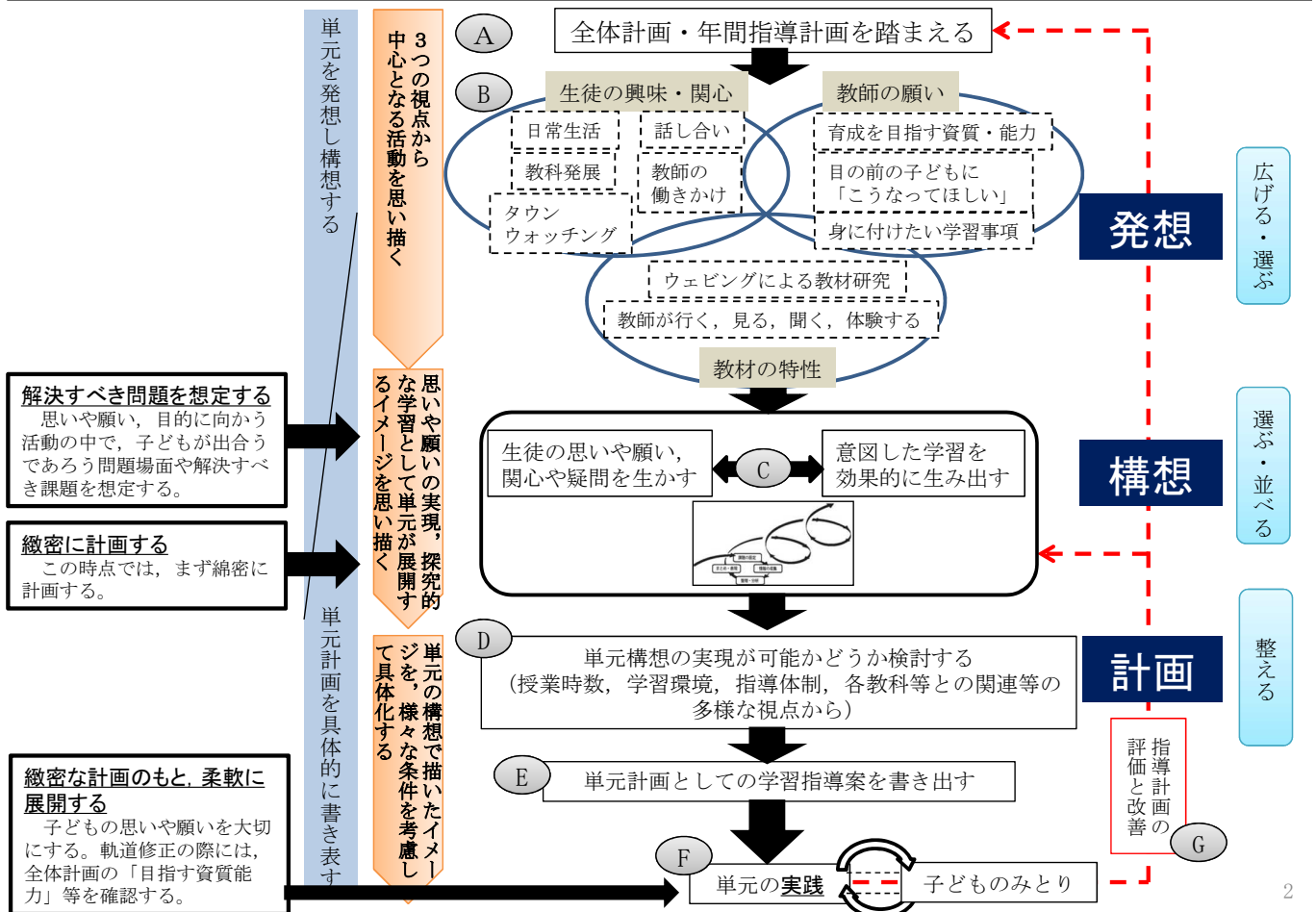


○ 単元計画をデザインする手順

参考: 今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開(平成22年11月 文部科学省)

単元計画をデザインする手順



単元計画をデザインする手順

今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開 (平成22年11月 文部科学省)

A 全体計画・年間指導計画を踏まえる

単元計画を作成するにあたっては、その前提として、学校の全体計画・年間指導計画を踏まえる必要がある。

B 3つの視点から、中心となる活動を思い描く

どの視点から構想を始めても、他の2つの視点についても十分に思いを巡らせることが大切である。

① 児童の興味・関心

児童の実態や興味・関心を出発点とすることで、児童の主體的な活動が保障できる。

② 教師の願い

教師の願いを出発点とすることで、どんな内容について学ばせたいのか、どんな資質や能力及び態度を身に付けさせたいのかを明確にした単元構想が可能となる。

③ 教材の特性

教材(学習材)とは、児童の学習を動機付け、方向付け、支える学習の素材のことである。

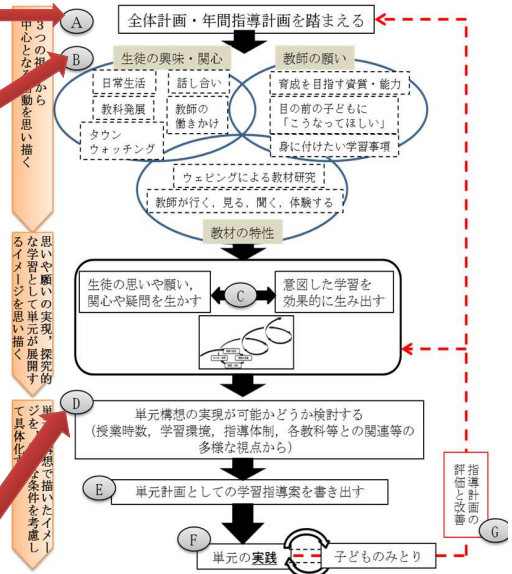
教材の特性を出発点とすることで、どのような問題解決や探究活動を行うことができるか、明確に見通すことができる。その際、横断的・総合的な学習になるように意識することが求められる。

C 探究的な学習として単元が展開するイメージを思い描く

① 児童による主體的で粘り強い問題の解決や探究活動を生み出すには、**児童の関心や疑問を重視し、適切に取り扱うこと。**

② 問題の解決や探究活動の展開において、**教師が意図した学習を効果的に生み出していくこと。**

児童が主體的に進める活動の展開においては、**教師が意図した内容を児童が自ら学んでいこうように単元を構成する点に難しさがある。**そこでまず、その関心や疑問から、児童はどのような活動を求め、展開していこうかと考える。そして、活動の展開において出会う様々な問題場面と、その解決を目指して児童が行う問題の解決や探究活動の様相、さらにそれぞれの学習活動を通して児童が学ぶであろう事項について、考えられる可能性をできるだけ**多面的、網羅的に予測する。**その際には、各学校で定めた探究課題、育成を目指す資質能力との照らし合わせを行う。



単元計画をデザインする手順

今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開 (平成22年11月 文部科学省)

D 単元構想の実現が可能かどうか検討する

まず、単元を構成する諸活動を考えた後に、各活動が児童の意識や活動の自然な流れに沿って展開できるかを検討する。流れに不自然さや無理がある場合には、順番を入れ替えたり、活動の間に別の活動を挟んだり省略したりすることで、単元構想の実現可能性をより高めることができる。さらに、各活動の授業時数、学習環境、学習形態、指導体制、各教科等との関連等の多様な視点から、単元構想が実際に実現可能かどうかを吟味する。

E 単元計画としての学習指導案を書き表す (冊子版解説P.104 HP版P.99)

単元の計画を具体的に表現するには、例えば、次に示す項目を学習指導案に位置付けることが考えられる。

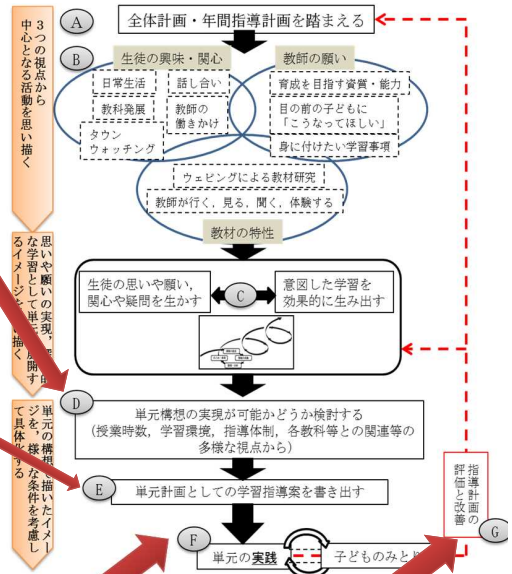
① 単元名 ② 単元目標 ③ 児童の実態 ④ 教材について ⑤ 単元の展開 など
単元の学習を通して、どのような概念的な知識を児童に獲得してほしいのか、どのような思考力、判断力、表現力等や学びに向かう力、人間性等の伸長を期待しているのかを明確にし、児童の興味・関心から始まる学習活動の連続が、探究的な学習となるよう単元を構想しなければならない。

F 単元の実践

どれだけ丁寧に単元づくりを行っても、**児童の活動は教師の想定通りにはならない場合もある。**その際には、計画通りに実行するのではなく、**児童の動きに応じて柔軟に修正しつつ学びを生みだそうとする、教師の構えが重要になってくる。**

G 指導計画の評価と改善

単元の実践を振り返り、単元計画を見直すとともに、次年度の全体計画や年間指導計画の改善に役立てることが必要である。



①課題の設定の事例

- 事例① 体験活動を対比して課題を設定する
- 事例② 資料を比較して課題を設定する
- 事例③ グラフの推移を予測して課題を設定する
- 事例④ 対象へのあこがれから課題を設定する
- 事例⑤ KJ 法的な手法で課題を設定する
- 事例⑥ 問題を序列化して課題を設定する
- 事例⑦ ウェビングでイメージを広げて課題を設定する

②情報の収集の事例

- 事例① アンケート調査で情報を収集する
- 事例② フリップボードで情報を収集する
- 事例③ インタビュー前にチェックリストで確認して情報を収集する
- 事例④ 図書室や図書館で情報を収集する
- 事例⑤ インターネットで情報を収集する
- 事例⑥ ファクシミリで情報を収集する
- 事例⑦ 手紙で情報を収集する
- 事例⑧ 電話で情報を収集する
- 事例⑨ 電子メールで情報を収集する
- 事例⑩ 実験・観察を通して必要な情報を収集する
- 事例⑪ ファイルに情報を集積する
- 事例⑫ 集めた情報をコンピュータフォルダに蓄積する

③整理・分析の事例

- 事例① **スクラップシート**で整理・分析する
- 事例② **図等**で整理・分析する
- 事例③ **グラフ**で整理・分析する
- 事例④ **マップ**で整理・分析する
- 事例⑤ **座標軸**の入ったワークシートで整理・分析する
- 事例⑥ **ベン図**で整理・分析する
- 事例⑦ **メリット・デメリット**の視点で整理・分析する
- 事例⑧ **「ビフォー・アフター」**の視点で整理・分析する
- 事例⑨ **SWOT分析**で整理・分析する
- 事例⑩ **ホワイトボード**で整理・分析する
- 事例⑪ **ブレインライティング**で整理・分析する

「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開」(平成22年11月 文部科学省 P19)

7

④まとめ・表現の事例

- 事例① **振り返りカード**でまとめ・表現する
- 事例② 保護者や地域住民などに**報告**する
- 事例③ **自己評価カード**を活用してまとめ・表現する
- 事例④ **プレゼンテーション**でまとめ・表現する
- 事例⑤ **新聞**でまとめ・表現する
- 事例⑥ **レポート**でまとめ・表現する
- 事例⑦ **パンフレット**でまとめ・表現する
- 事例⑧ **ポスター**でまとめ・表現する
- 事例⑨ **パネルディスカッション**でまとめ・表現する
- 事例⑩ **シンポジウム**でまとめ・表現する

「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開」(平成22年11月 文部科学省 P24)

8

○ 知識及び技能・概念的知識の例

※各学校が実践を重ねて、概念的知識とはどのようなものかを明らかにすることが大切！

9

探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力の設定例【概念的知識の例】

探究課題	概念的知識(例)
地域の水産業の現状や問題点と、それに携わる人々の努力や工夫、生き方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の水産業に携わるAさんが、地域の特産である●●をおいしく食べてもらうための取り組みを進めていること。(努力) ・ ●●を生産する人、販売する人、消費する人といった様々な立場の人が存在すること。(多様性) ・ 商品は、多様な立場の人々の需要や供給のバランスによって成り立っていること(相互性) ・ 我が国の水産業は様々な課題を抱えており、その課題が自分たちの生活と関わっていること(影響)

子どもが探究的に関わる人・もの・ことを具体的に示すことが肝要

探究課題と同様に構成する「具体的な資質・能力」を明確にすることが大切。特に「知識及び技能」は、設定した探究課題の特質によって異なる。

探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力の設定例【概念的知識の例】

探究課題	知識及び技能【概念的知識(例)】
<p>身の回りの高齢者とその暮らしを支援する仕組みや人々 (福祉)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・世の中には高齢者や身体に障がいがある人など、様々な人々が暮らしていること（多様性） ・すべての人々が安心して快適に道具や建物を使用したり、まちで生活したりできること（公平性） ・様々な人々の立場に立って身の周りのものを見つめ直し、生活を工夫すること（連携性） ・身の周りの高齢者の暮らしを支援する人々や組織があり、対象者のニーズに合わせた具体的な取組を進めていること（創造性） など

子どもが探究的に関わる人・もの・ことを具体的に示すことが肝要

探究課題と同様に構成する「具体的な資質・能力」を明確にすることが大切。特に「知識及び技能」は、設定した探究課題の特質によって異なる。

探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力の設定例【概念的知識の例】

探究課題	概念的知識(例)
<p>地域のまちづくりや地域活性化のために取り組んでいる人々や組織</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・まちの人口の減少や少子高齢化が影響を及ぼしていること。（一般共通性，地方特殊性） ・地域を活性化するためのアイデアや具体的な取組があること（創造性） ・まちづくりを推進する人々や機関が存在し，それぞれが関わり合いながら役割を果たしていること。また，これまでもまちの活性化のために尽力してきたこと（連携・努力） ・価値観やライフスタイルの変化に伴う消費者のニーズの多様化が影響を及ぼしていること（背景，原因，影響，関係性）

子どもが探究的に関わる人・もの・ことを具体的に示すことが肝要

探究課題と同様に構成する「具体的な資質・能力」を明確にすることが大切。特に「知識及び技能」は、設定した探究課題の特質によって異なる。